

# INAC神戸レオネッサを 取材してきました！



女子サッカークラブ「<sup>アイナック</sup>INAC神戸レオネッサ」は六甲アイランドにある神戸レディースフットボールセンターを本拠地としています。今回、INAC神戸代表取締役社長 安本卓史氏と高瀬愛実選手に、INAC神戸レオネッサが行う地域密着のための活動（ホームタウン活動）についてお話を伺いましたのでご紹介します！

**躍進**  
FOR THE FUTURE 2021-22  
INAC KOBE  
2021/22スローガン

ホームタウン活動とは？



地域の皆さまに身近に感じてもらえるよう、また、ファンになってもらえるように、「サッカーを中心としたすべてのスポーツを通して、地域社会を明るく元気にする」ことを目的に活動しています。

小学校に選手が訪問し、サッカーをメインに一緒に体を動かすことの楽しさや、選手がスポーツを通して学んだこと、感じたこと、絆の大切さなどを伝えながら、子どもたちと交流する「絆の授業」を行っています。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの実施となっていますが、子どもたちにとって女子サッカーに触れるきっかけとなるだけでなく、選手にとっても学びや気づきの機会となっています。

また、9月には「INACファミリー六甲アイランドクリーンアップ大作戦」として地域の皆さまと共に六甲アイランドの清掃活動を行いました。  
(安本卓史社長)



安本卓史社長からのひとこと



INAC神戸は今年20周年です。INAC神戸の名前は聞いたことがあるけど、具体的には知らないという方も多いと思います。現在、女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」の試合が行われています。コロナ対策は万全を期しています。実際に見に来ていただけたら、きっと感じていただけるものがあると思います。ホームタウンである東灘区の方に、まず知ってもらって、地元のチームとしてぜひ応援していただきたいです。

高瀬愛実選手からのひとこと



東灘区の街なかで私たちINAC神戸のフラッグやポスターを見かけたり、地域の方に声をかけてもらったりと、応援してもらっていると感じる人が多いです。私たちはみなさんの思いに結果で返せるようにがんばっていきたくです。INAC神戸を知ってもらって、スタジアムに来てもらって、また、そこで私たちは地域に還元して行って、地域を活性化させていけたらいいなと思っています。これからも東灘区を中心にINAC神戸を盛り上げてもらえたら嬉しいです。

実際に活動された感想は？

長年活動していますが、子どもたちに自分たちの経験を伝えるというのは、私たちも学ぶことが多いです。女子サッカーを知らなかった子どもたちが興味を持ってくれ、試合に来てくれることで、地域とのつながりを実感できるのはうれしいことですし、これからも継続していきたいです。コロナの感染状況が落ち着いたら、もっと積極的に活動していきたいです。(高瀬愛実選手)

コロナ禍ではどんな活動を？

新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的にチームのスポンサー企業と共同で開発した、殺菌成分を含んだ肌に優しい美容液を、東灘区の神戸市立小学校・中学校・高校などへお届けしました。また、最近では抗菌加工されたうちわを作成し、東灘区の小学校にお配りしました。コロナ禍の今、形を変えながらも地域との交流を続けています。  
(安本卓史社長)



INAC神戸公式マスコット  
らいむちゃん

2021/22シーズンユニフォーム

ユニフォームのデザインが新しくなりました！

このユニフォームは、日本を代表するファッションデザイナー コシノヒロコ氏(神戸ファッション美術館名誉館長)がデザインしました。



WEリーグ

日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が9月に開幕しました。

試合予定@ノエビアスタジアム神戸

日 時	対戦相手
11月14日① 13:00	アルビレックス新潟レディース

詳細はINAC神戸公式HPをご覧ください→

